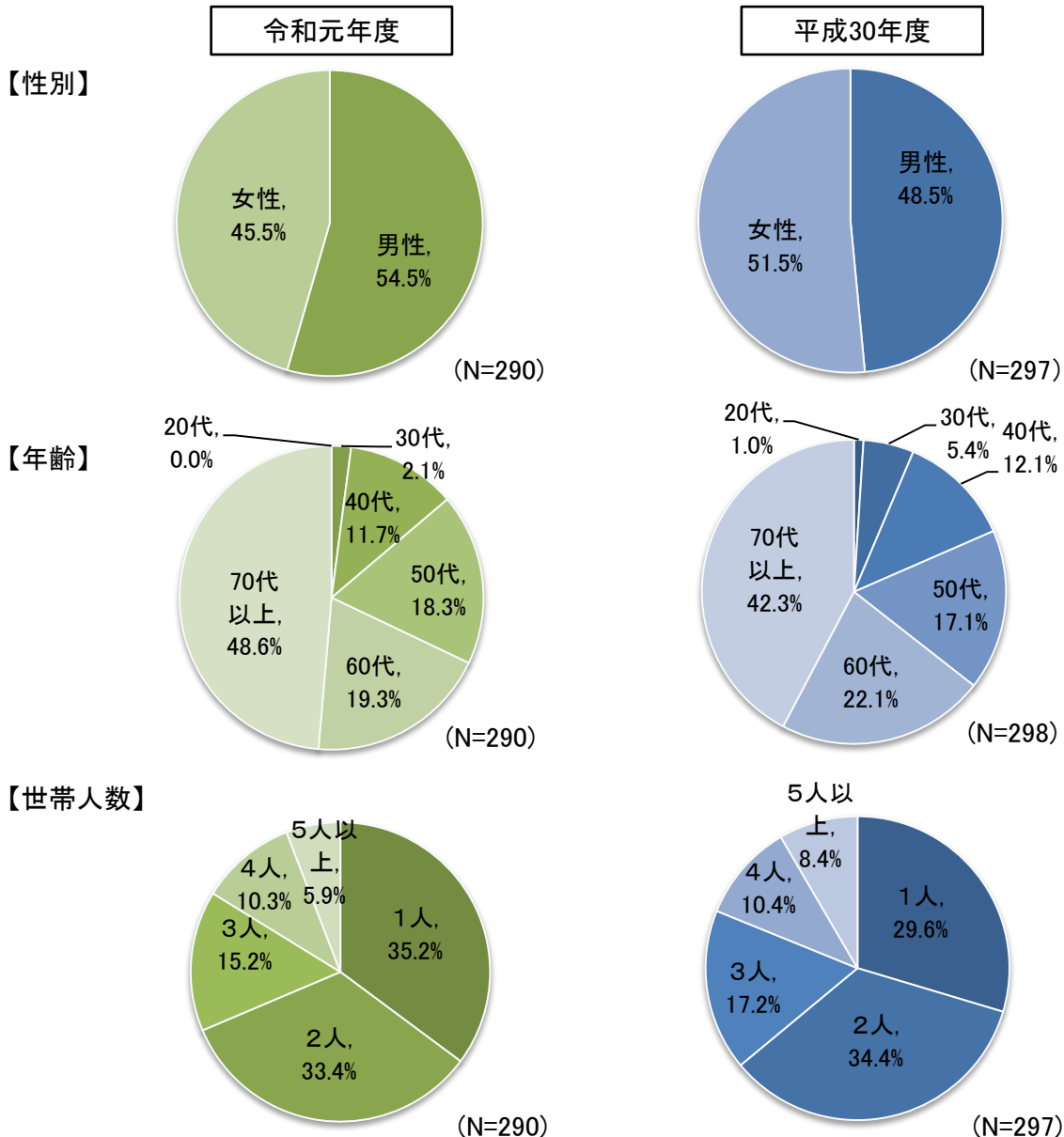


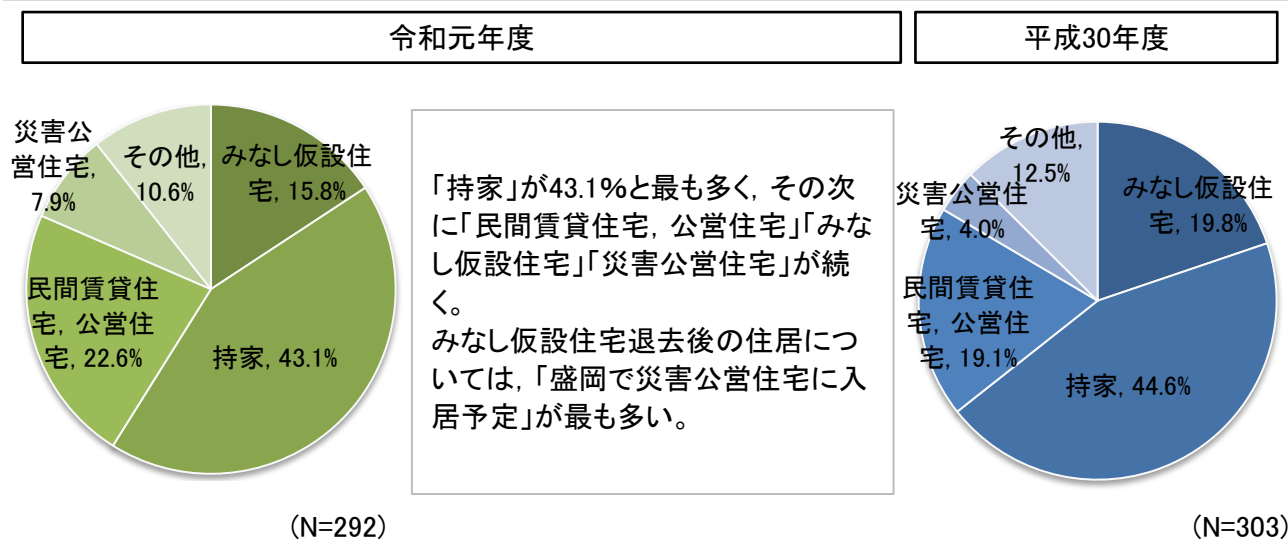
もりおか暮らしのアンケート集計結果

年度	令和元年度	平成30年度
対象	東日本大震災以降盛岡市に転居し、現在も市内に居住している世帯の意見を代表する方、又は世帯主(主たる生計維持者)の方 (令和元年9月17日時点)	東日本大震災以降盛岡市に転居し、現在も市内に居住している世帯の意見を代表する方、又は世帯主(主たる生計維持者)の方 (平成30年9月20日時点)
対象数	508世帯(内みなし75世帯, その他433世帯)	536世帯(内みなし114世帯, その他422世帯)
回答数	297世帯(内みなし46世帯, その他251世帯)	303世帯(内みなし60世帯, その他243世帯)
回答率	58.5%	56.5%
実施期間	令和元年10月4日～10月31日	平成30年10月4日～10月22日
調査方法	郵送, 原則無記名	郵送, 原則無記名

回答者の属性

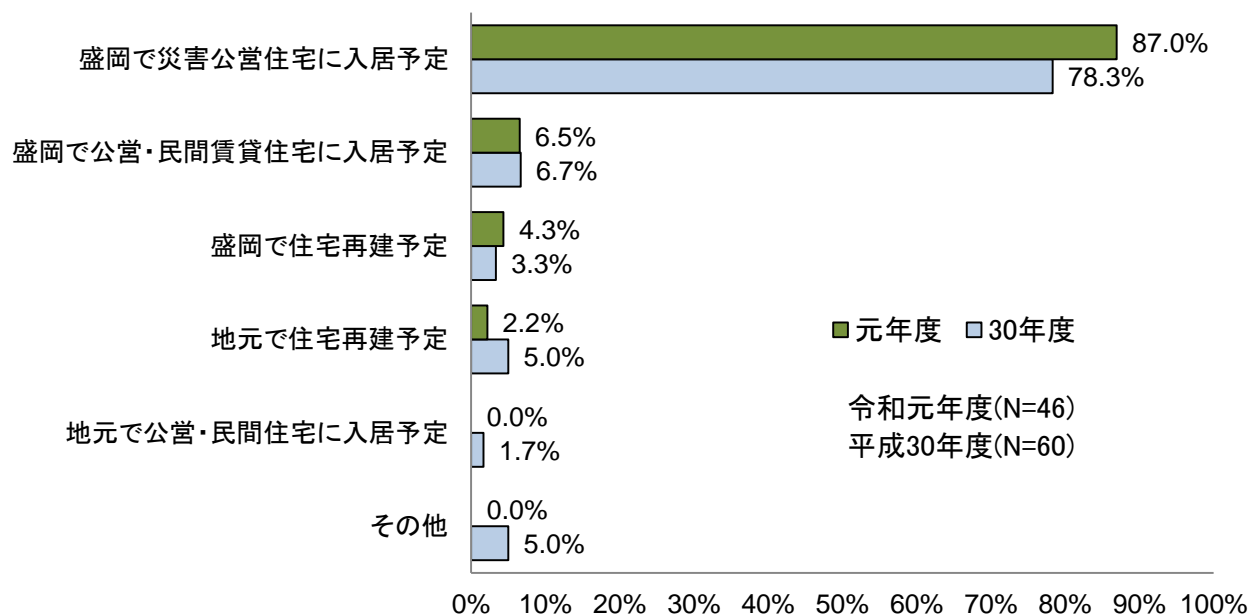


◆問1 あなたは、現在どのような住居にお住まいですか。



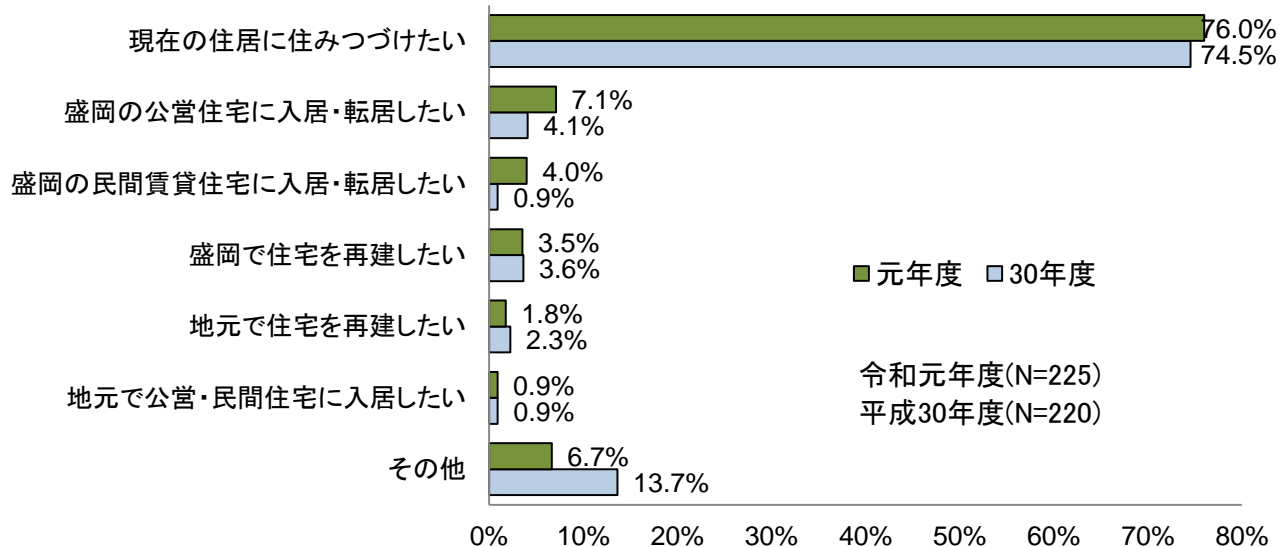
〔問1で「みなし仮設住宅」と回答した方にお伺いします。〕

問1-1 みなし仮設住宅退去後の住居について教えてください。



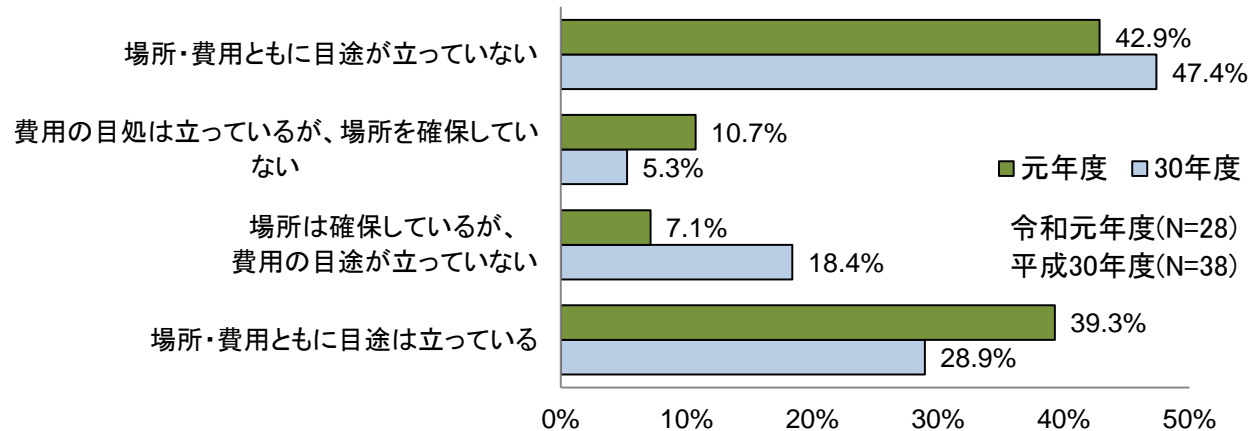
〔問1で「みなし仮設住宅」以外と回答した方にお伺いします。〕

問1-2 これからの住まいをどのようにしたいと考えていますか。

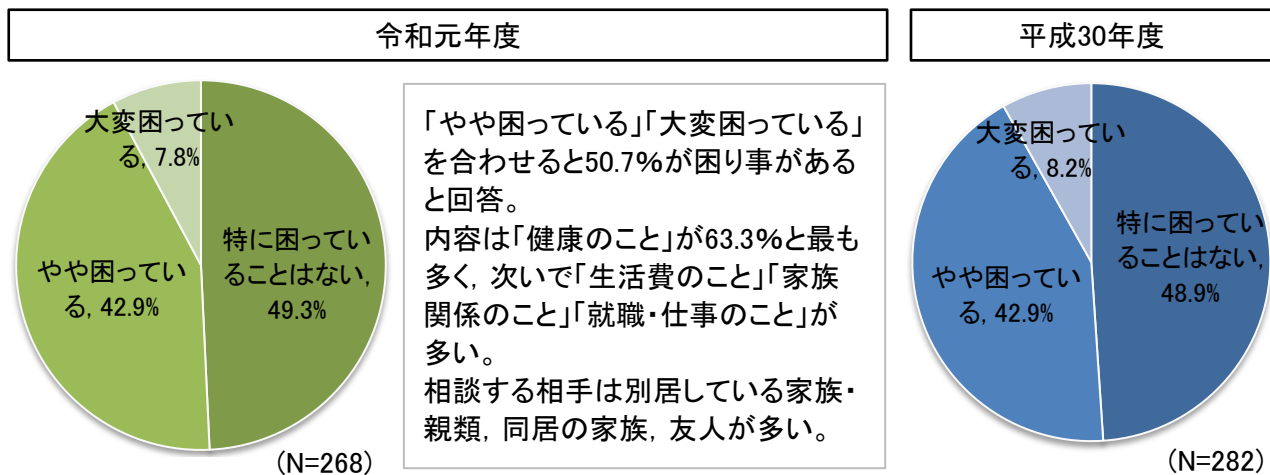


〔問1-1又は問1-2で「住宅を再建予定」又は「住宅を再建したい」回答した方にお伺いします。〕

問1-3 住宅再建の目途は立っていますか。

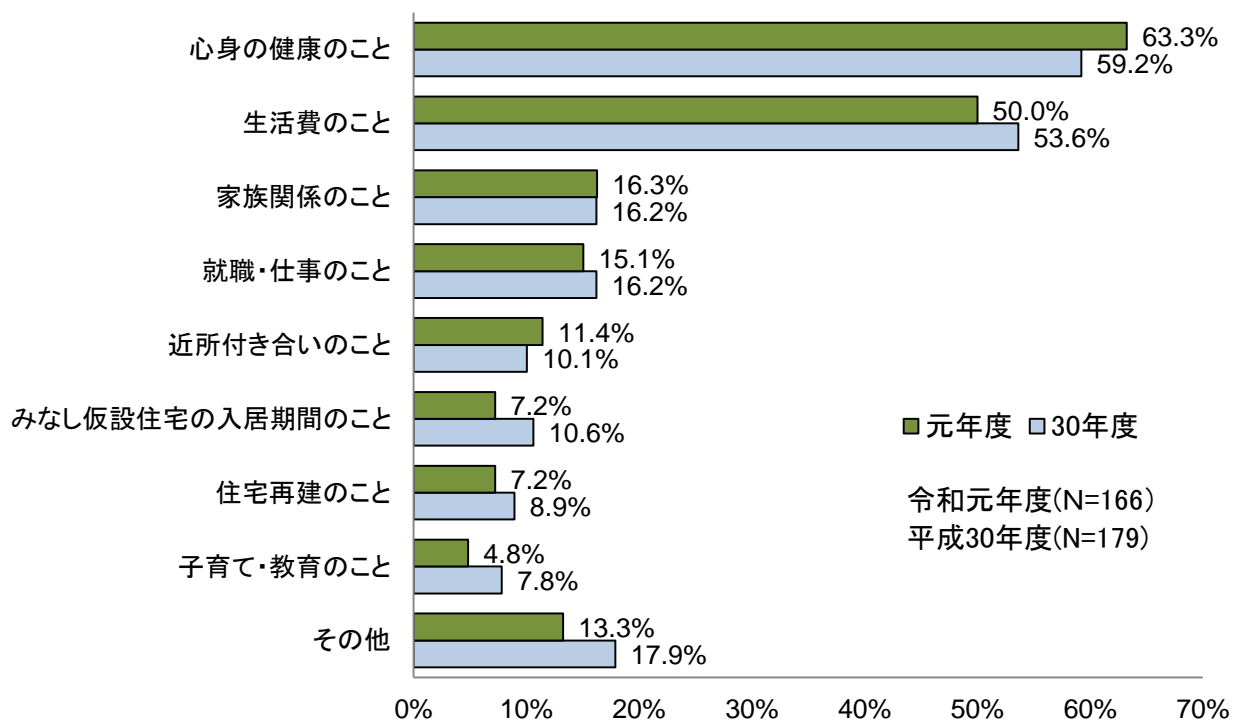


◆問2 あなたの暮らしの状況を教えてください。



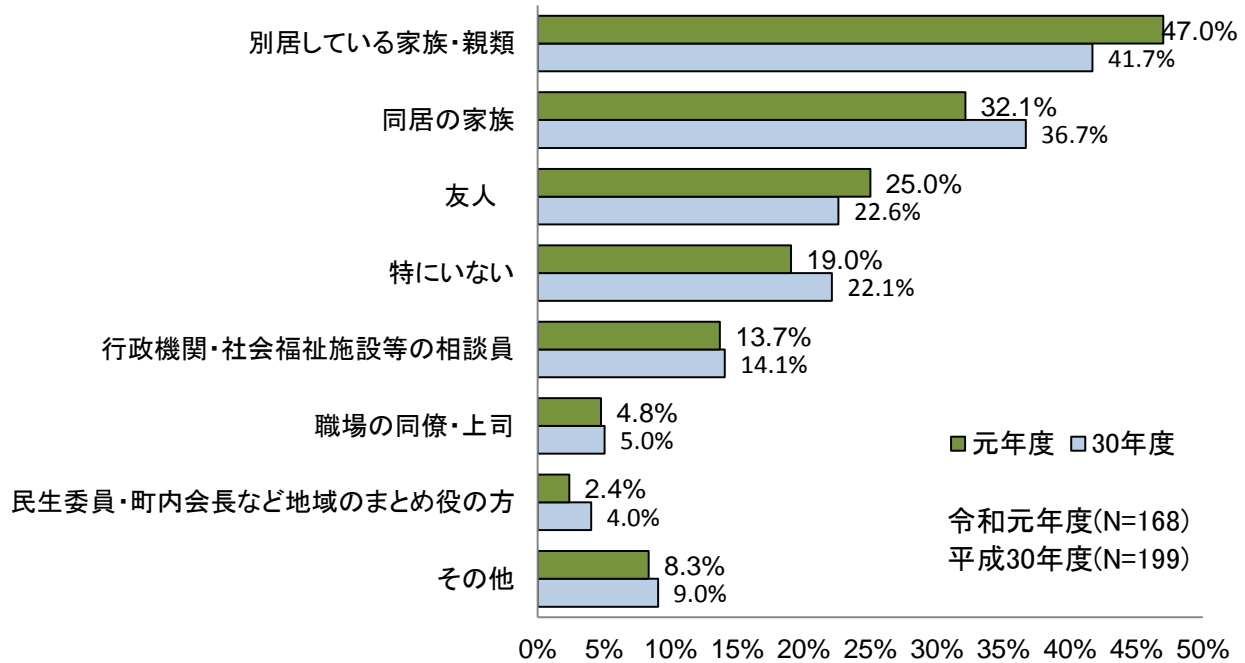
〔問2で「やや困っている」「大変困っている」と回答した方にお伺いします。〕

問2-1 現在の困り事や心配事は何ですか。(複数回答)

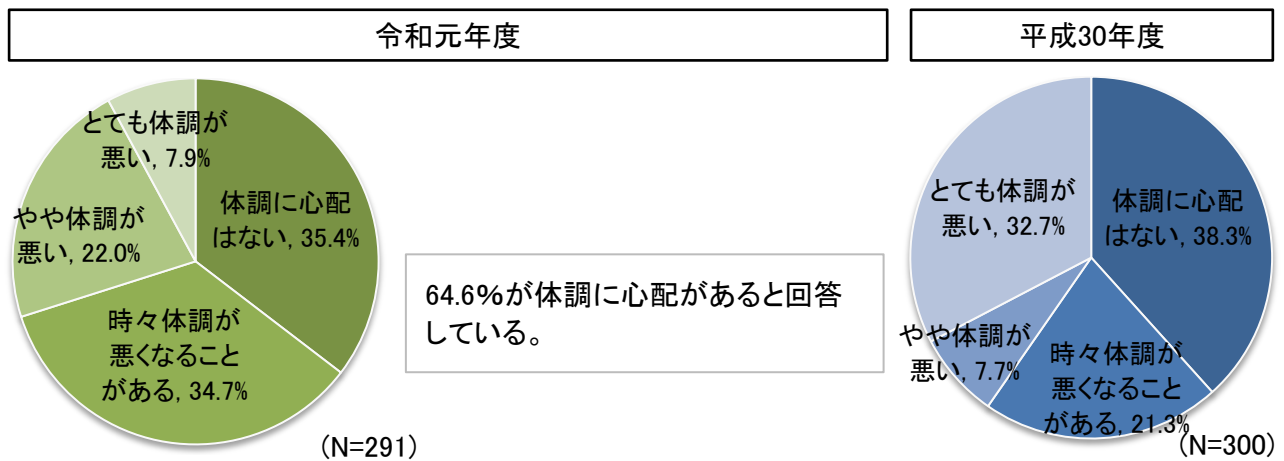


〔問2で「やや困っている」「大変困っている」と回答した方にお伺いします。〕

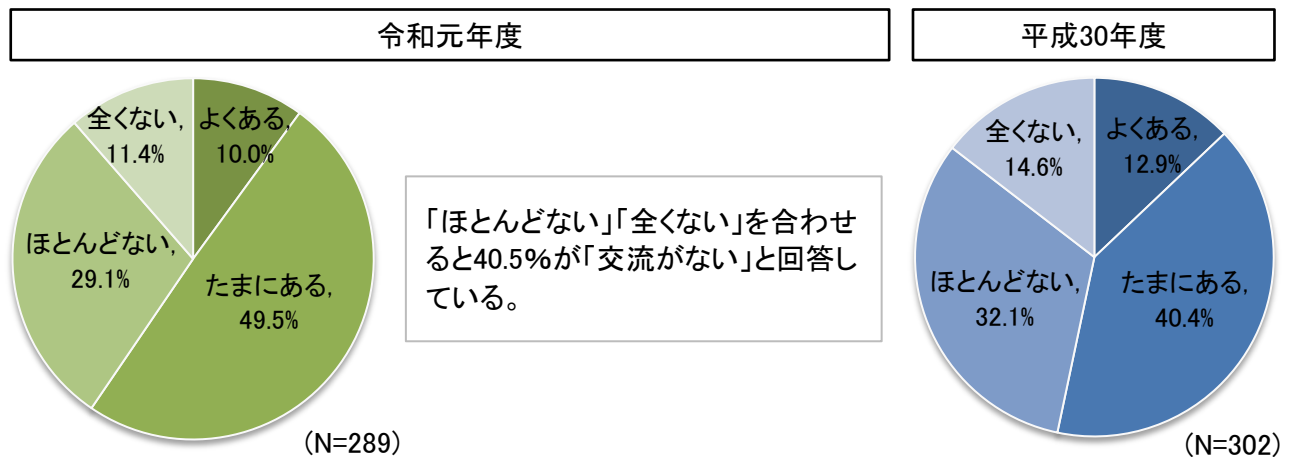
問2-2 生活上の困り事や心配事を相談する相手は誰ですか。(複数回答)



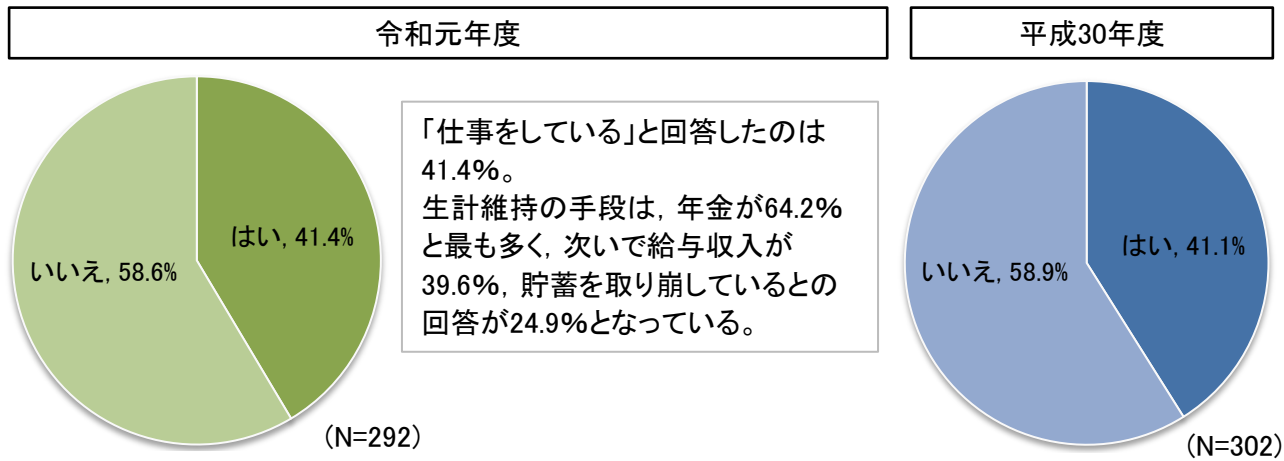
◆問3 あなたの健康の状況を教えてください。



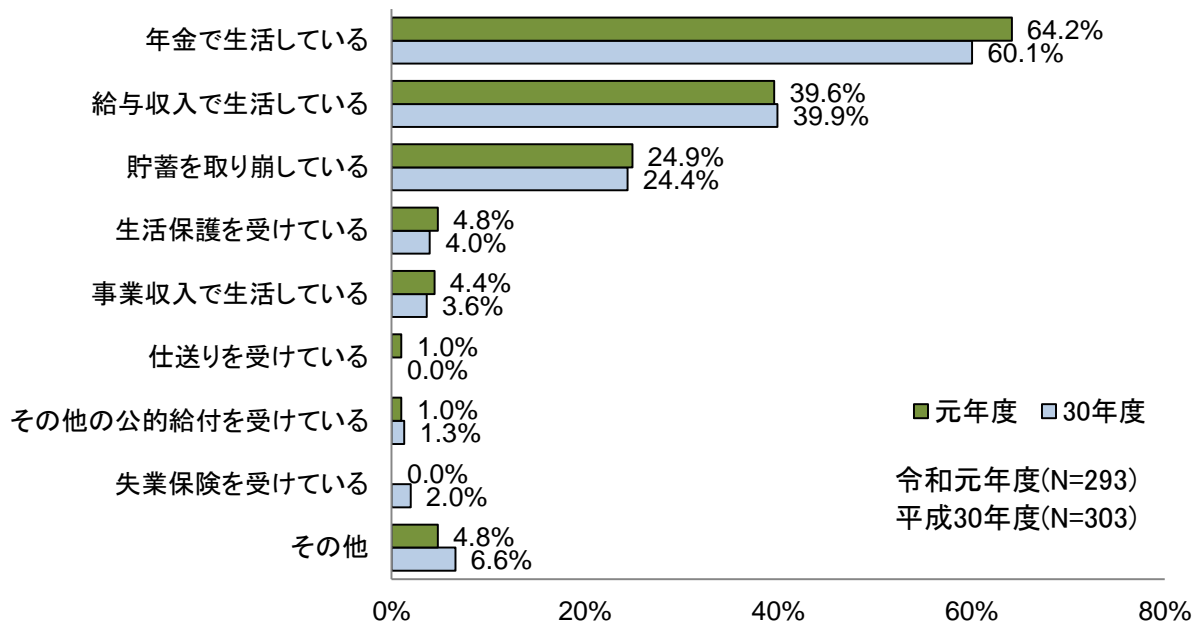
◆問4 近所の方と交流はありますか。



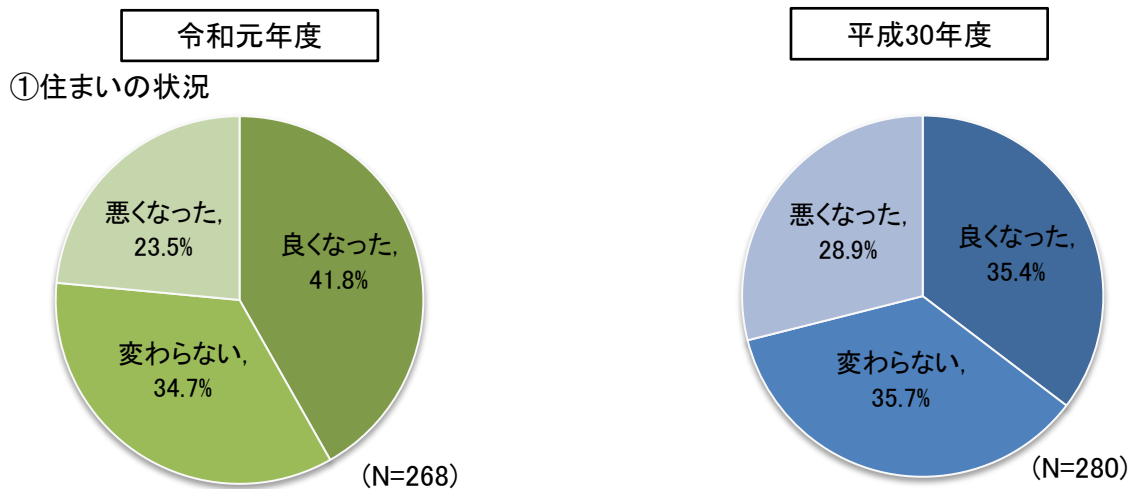
◆問5 あなたは、現在仕事をされていますか。



◆問6 あなたの世帯は、どのように生計を維持していますか。(複数回答)



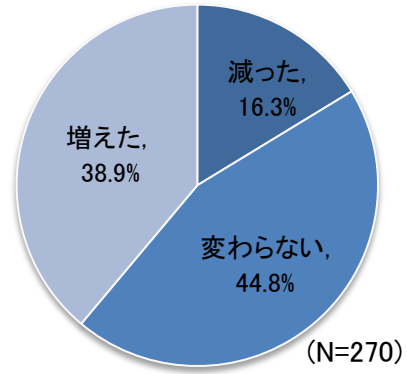
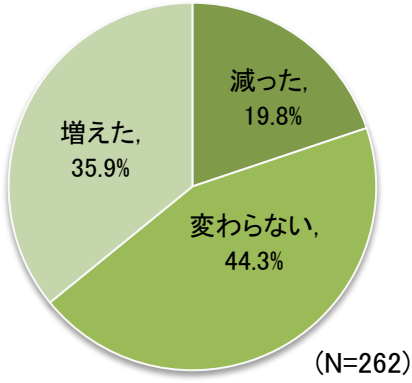
◆問7 東日本大震災の直後と比較して、あなたの現在の暮らしはいかがですか。



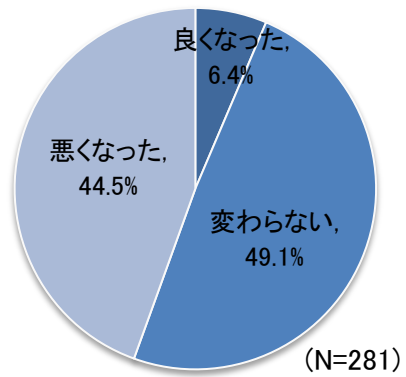
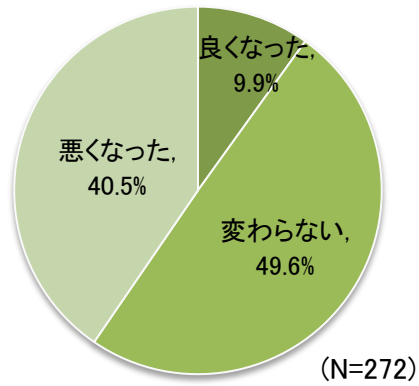
令和元年度

平成30年度

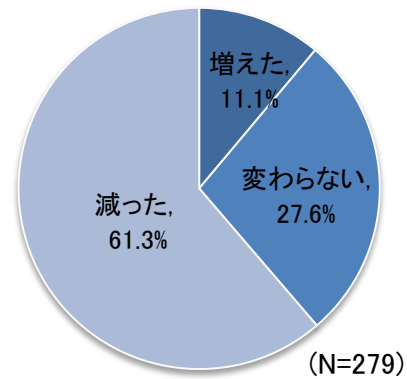
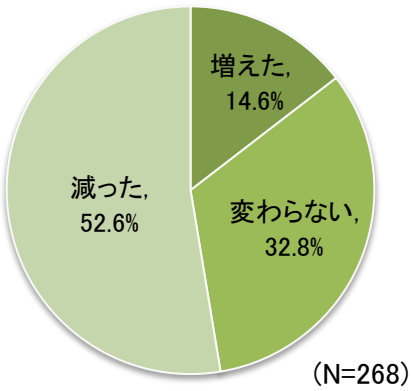
②困り事



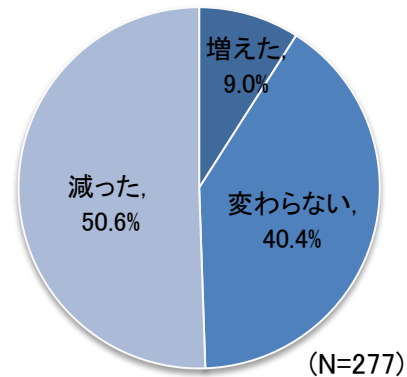
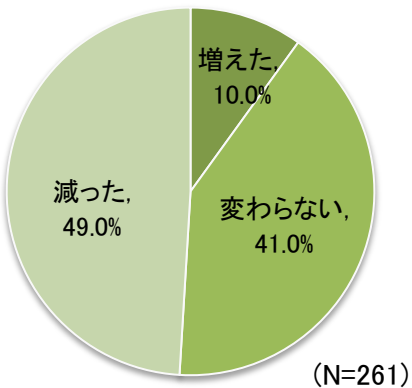
③健康状態



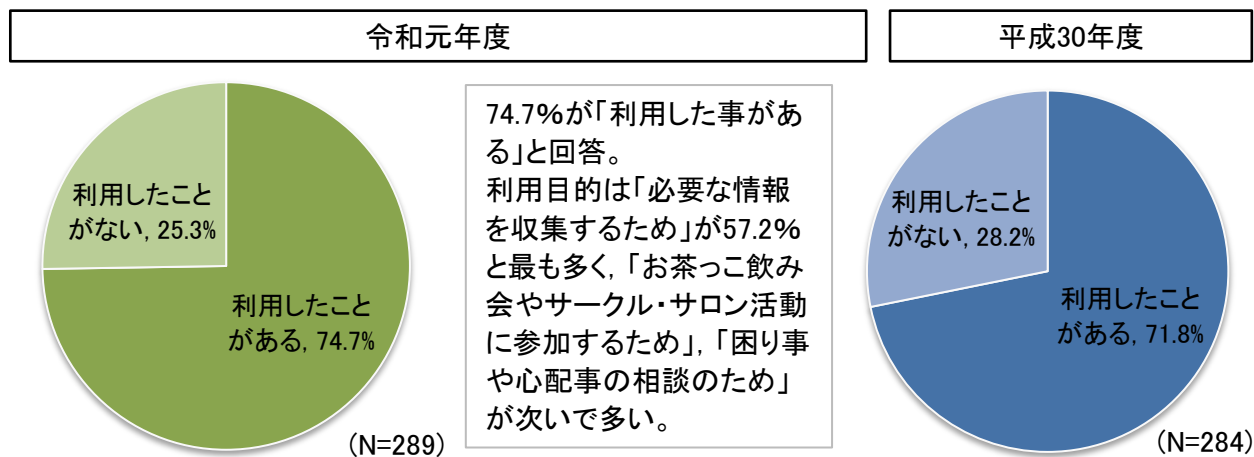
④人との繋がり



⑤収入

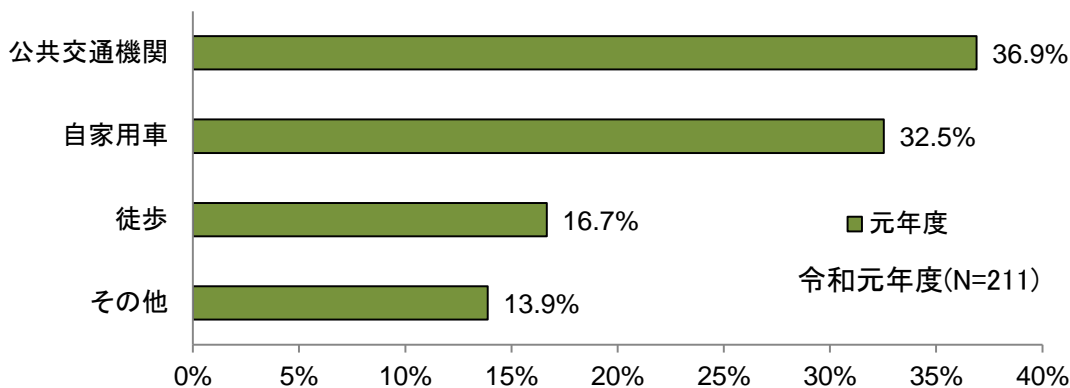


◆問8 あなたは、もりおか復興支援センターを利用したことがありますか。



〔問8で「利用したことがある」と回答した方にお伺いします。〕

問8-1 あなたは、どのような交通手段でもりおか復興支援センターを利用しましたか。(複数回答)
 (元年度新設の設問)

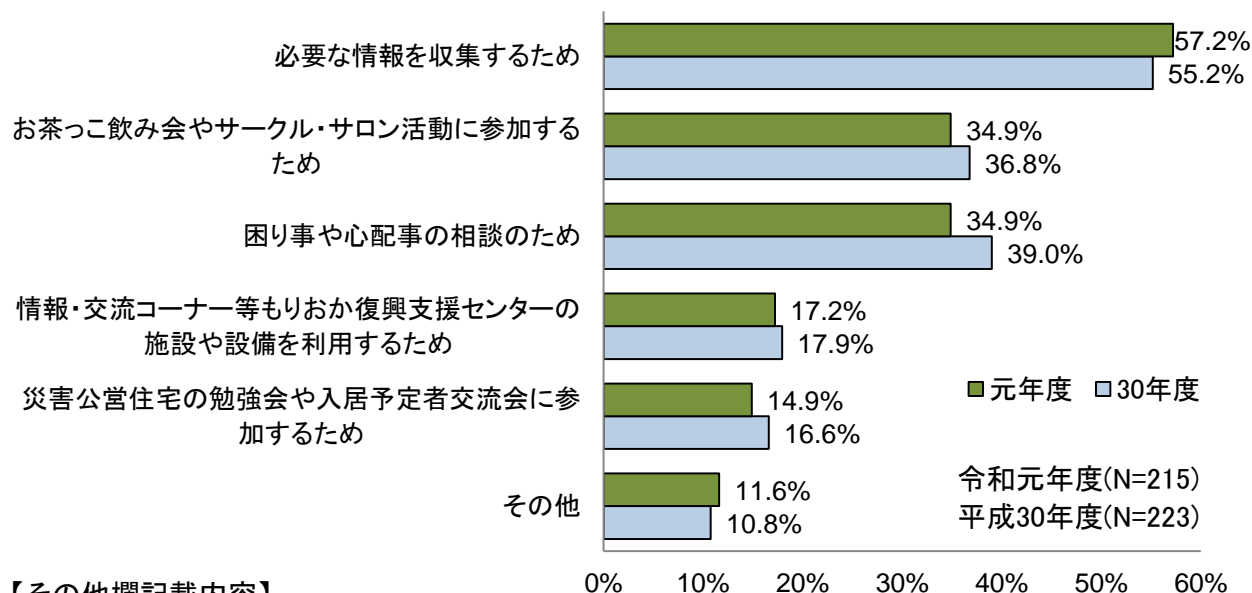


【その他欄記載内容】

- ・自転車
- ・家族等の送迎
- ・タクシー
- ・職員の訪問や電話による対応のため施設利用なし

〔問8で「利用したことがある」と回答した方にお伺いします。〕

問8-2 あなたは、もりおか復興支援センターをどのように利用しましたか。(複数回答)



【その他欄記載内容】

- ・家族や自分の健康状態、仕事面などの相談
- ・当初の支援物資供給時に利用
- ・学習支援で数回利用した
- ・支援金の申請方法を聞いて申請した
- ・FPとの面談等
- ・復興雑巾作り

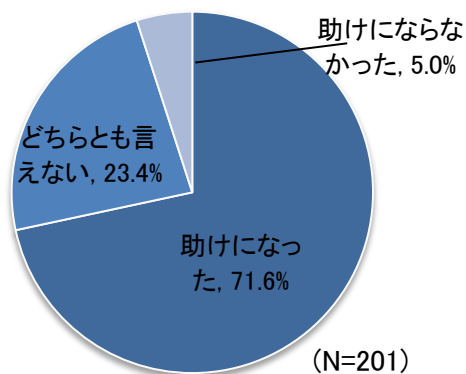
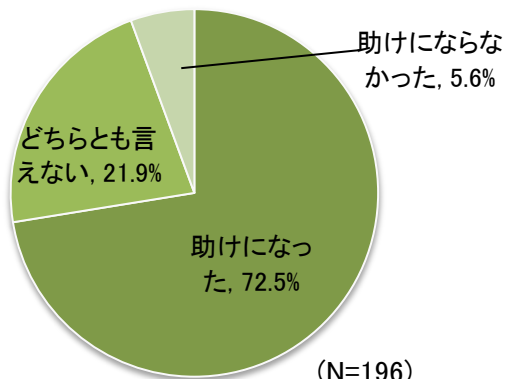
[問8で「利用したことがある」と回答した方にお伺いします。]

問8-3 あなたは、もりおか復興支援センターを利用してどのように感じましたか。

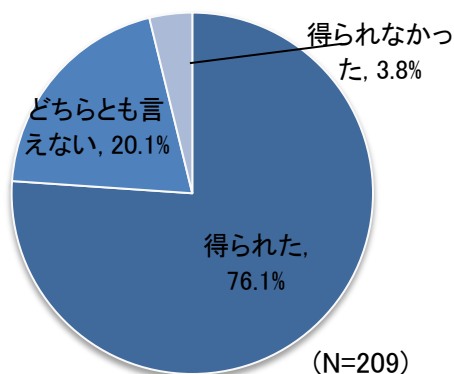
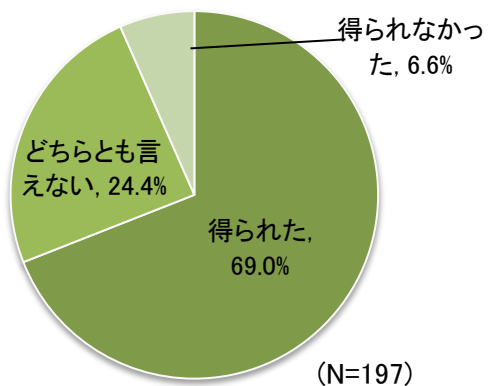
令和元年度

平成30年度

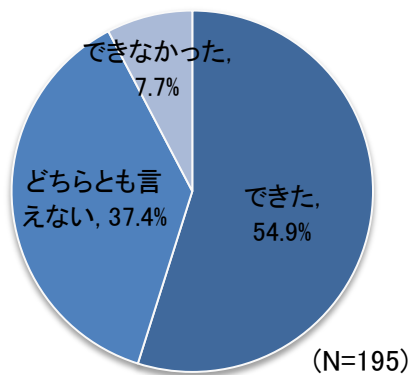
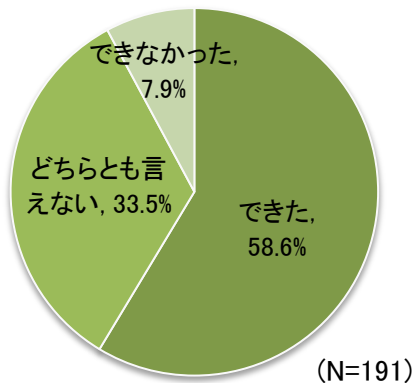
①困り事や心配事を解決する助けになった



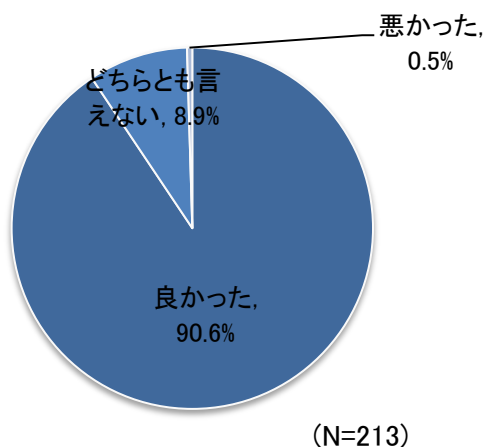
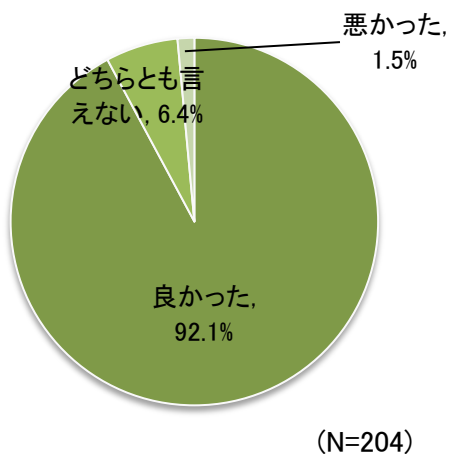
②必要とする情報が得られた



③リフレッシュできた



④職員の対応が良かった

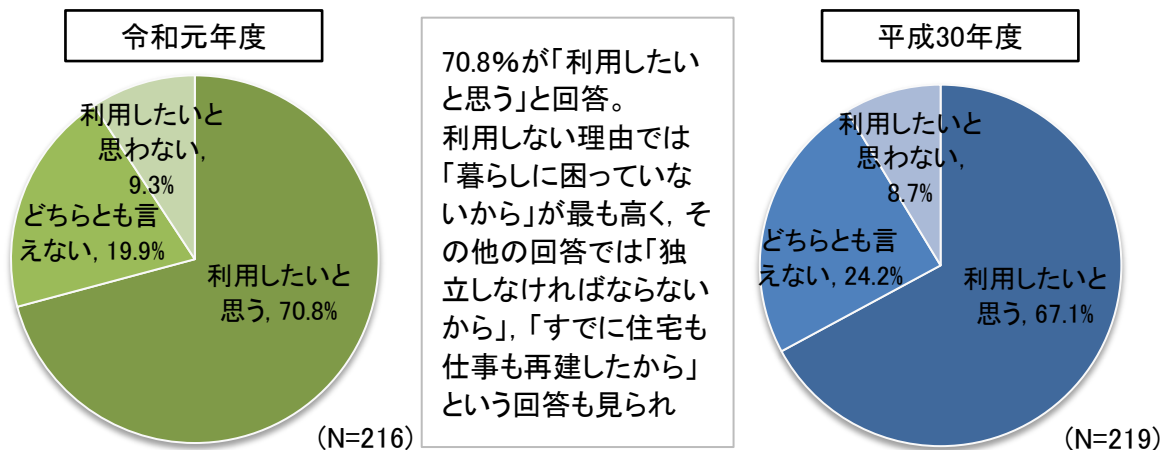


【自由記載欄】※趣旨を損なわない範囲で修正を加えている部分があります。

- ・久しぶりに行くと、人がだいぶかわってて、入りづらくなって、今はあまり行かない。
- ・いろんな問題に対していやな顔をしないで快く助けてくれます。
- ・もう少し親身になってアドバイスしてもらいたい。
- ・職員の方が優しくて、心が落ち着きました。
- ・皆さん人柄が良く行きやすい場所です。
- ・足が悪く出かけられないので、職員の方が毎月訪問してくれていますのでホッとします。
- ・いろいろと親身になって相談に乗っていてとてもうれしかった。アドバイスなども適切であった。
- ・入りづらいです。最初の一步がふめません。情報も最初に行った時はどう得たらいいのか、わかりませんでした。声を掛けるのもどうしていいのかわからなくて不安で、子どもと一緒に活用することが出来ず、遠のいてしまいました。活動の大半が年配の方が対象のようです。
- ・支援センターのみなさんには大変感謝しております。
- ・専門の方に将来のことが相談できました。
- ・復興支援センターの職員に色々私ごとを聞いていただき、苦しい日々が続いた時、助けていただきました。
- ・お年寄りがいつも同じグチを言ってばかりだった。
- ・資料(地元の新聞など)が役に立つので見やすいところに置いてあると助かります。
- ・毎月届く封書を楽しみに待ってます。
- ・仕事でなかなか行事に参加できない時でも、説明会も、その都度連絡をくれたり、分からないことも丁寧に教えてくれました。
- ・相談事に対応早く心強く思いました。
- ・何を相談したらよいのでしょうか？
- ・職員さんの対応はとてもいいです。
- ・時々お電話を頂き、とても心配して頂き助かりました。

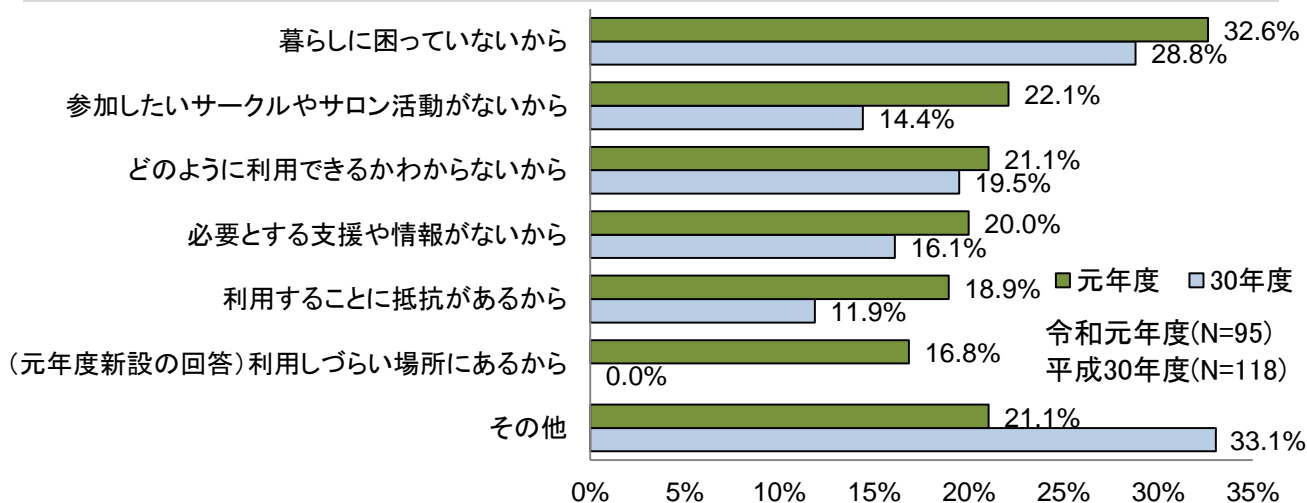
〔問8で「利用したことがある」と回答した方にお伺いします。〕

問8-4 あなたは、もりおか復興支援センターを今後も利用したいと思いますか。



〔問8で「利用したことがない」、問8-3で「利用したいと思わない」と回答した方にお伺いします。〕

問8-5 あなたが、もりおか復興支援センターを利用しない、今後利用しようと思わない理由を教えてください。(複数回答)



【その他】

- ・今まで地元と盛岡の行き来でひまがなかった。
- ・今のところ他人の助けは必要とは思わない。
- ・出来る限り独立した生活をしなければと考えます。(たくさんお世話になったので)
- ・利用する時間が仕事と重なる。
- ・震災を思い出してしまう。
- ・他の人に関わらないで、情報だけがほしいから。
- ・すでに住宅も仕事も再建したから。
- ・以前利用した時に、とても不快な思いをしたから。
- ・行ったことがないので、行くことに抵抗感がある。

◆問9 現在の困り事や心配事などのほか、盛岡での生活や将来について、日頃考えていることがありましたら自由にご記入ください。

【主なもの】※趣旨を損なわない範囲で修正を加えている部分があります。

・だんだん年齢が加わり、又、世界各地、日本での被災のニュースが流れる度に私達、当初の気持が甦り、気持がゆらぐ様になり大変ですが、でもサークル活動でその気持をおさえ、何とか楽しんで居ります。

・復興支援センターの方々が時々たずねて下さるのが楽しい。お話し相手になって下さり、情報が得られるので、来訪は続けてほしいと思います。センターは遠くて不便なため。

・盛岡に来て数年たちますが、なんとなく落ち着かない感じです。復興住宅の方へ入居できる予定になっておりますが、引っ越しのことを考えると、お金のこと、体調のことなど、不安なことだらけです。

・消費税が上がり全体の物価も上がり今後の生活がより不安になってきました。

・ご近所の皆様には心を寄せていただき、感謝感謝の毎日です。自分達の健康にはくれぐれも気をつけて、これからも出来る限りご迷惑を掛けたくないよう、日々心掛けて生活したいと思います。70才過ぎましたが、健康な間誰かの支えになれたらと思っています。

・所有している土地の管理について、遠方の為、今後どのようにしていくか考えております。賃借人も高齢になられ、早急な対策が必要です。

・本心は生れた所に帰りたいです。土地も家もなくなり家族もいないし、盛岡にいる兄弟のそばでござろうと思っています。

・心配事の一番は老後の世話になる場所。そして最期におさまる場所等が決まっていないこと等。

・盛岡市に来て近隣のみなさんの温かさ、やさしさにとっても感謝しております。地区のみなさんとなかよくなってしまい、逆にいずれは地元にもどりますと言えなくなっています。盛岡市はすばらしいところです。

・このまま盛岡で生活した方が便利で快適と思うが、仕事先が沿岸なので、被災した場所と違う沿岸へ引っ越すことになる。今後の生活がどうなるのか不安。

・一番は災害公営住宅に無事引っ越せること。その先は生活しながら考えればよいと思っています。

・年金生活なので少しでも足しにしたいと思い仕事をしていますが、いつまで働けるか日々体力の落ちるのを感じます。

・地元へ帰りたいたいという気持ちはなかなかあきらめられず悲しくなる時がある。

・高齢者になってしまい日常生活でも迷惑をかけないで過ごしたいとばかり考えて生活してます。

・現在の生活を維持していきたい。

・震災後から、大きな変化や決断しなければならないことが続いていて、とても忙しいです。住むところや生活が、大きな変化のない日常になっていけばいいと思っています。震災直後から比べると、少しずつ日常が戻り、生活が落ち着いてきているとは感じます。

・盛岡は震災前から仕事で繋がっていたため、知人も多く住み良い環境です。生活の不便さは感じません。

・盛岡に住んで9年、不満らしきものはあまり感じていないが、生活を豊かにするための近所付き合いを良くすることや、健康面を大事にしようと思っている。

・以前住んでいた地元はとても住みやすい所でしたが、私が盛岡に永住しようと決めたのは医療が充実しているという事です。何より、なつかしい海はないものの、山の美しさや大雪も(?)盛岡の町はいい所だなあと思いながら暮らしているこの頃です。

・民間の賃貸住宅は家賃が高額で生活が大変なため、盛岡市内の災害公営住宅に入居したい。